

we have civic pride
and enjoy "kisela
kawanishi" public-life
with you all!

キセラ川西

Kisela Kawanishi

Vol.4
NEWS

キセラ川西市民プログラム

“ワクワク” することを “やっちゃおう”!

07.09 sat.

2016年7月9日、第4回目のキセラ川西「市民プログラムワークショップ」が行われました。今回は、悪天候にも関わらず16名の参加者が集まり、「キセラ川西せせらぎ公園」での市民活動の実現に向けて、仲間探しや意見交換を行いました。

ワークショップの前半は仲間探しとグループ分けを、後半は企画書づくりに向けた話し合いを進めました。

最後に、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科の武田重昭先生による講義を受け、公園での市民活動について先進事例から学びました。



やりたい活動が似ている
仲間との意見交換に
ワクワク

PROGRAM

01. はじまりのあいさつ
02. 前回のおさらい
03. グループ分け
やりたい活動が似ている「仲間さがし」
04. グループワーク
企画書づくりに向けて意見交換・発表
05. 講義
「公園での市民活動の取り組み先進事例」
武田重昭 先生
(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)
06. おわりに



OVER VIEW

日時 2016.7.9 sat 9時半～12時
場所 アステ川西市民プラザ
ルーム2
参加人数 16名

REPORT.2

講義「公園での市民活動の取り組み先進事例」
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 武田重昭 先生

REPORT.1

- やりたい活動が似ている仲間をさがしてグループづくり
- 活動の企画書づくりに向けて意見交換



Summary. 01 活動したいジャンルが似ている仲間をさがして、グループをつくりました。

①食 ②音楽・演劇・映画・アート ③のんびり
④健康・運動・ヘルスケア ⑤自然 ⑥遊び
⑦川西、地域づくり ⑧防災
⑨運営支援・広報・コンシェルジュ

9つのジャンルを手がかりに、仲間をさがしました。



考え方が似ている
ものどうして
わいわいがやがや
意見交換。面白い企画
が完成しそう!

Summary. 02 やりたい活動が似ている仲間と企画書づくりに向けて意見交換

次回のワークショップでも、引き続き企画書づくりに取り組みます。



Summary. 03 グループで話し合った内容を全員の前で発表しました

面白い企画のタネがいっぱいの発表でした! 次回は、試行活動も視野に入れながら企画書をブラッシュアップ!



ジャンルの違う
グループが合体して
面白いアイデアが
生まれました!



グループワーク終了後に、武田先生からアドバイスを受けました。(詳しい内容は裏面をごらん下さい)

また、高槻市の安満遺跡公園での市民活動プロジェクトの取り組みについて、スライドを用いて詳しく紹介して下さいました。



事例 高槻市 安満遺跡公園 市民活動プロジェクトの取り組み

- 開園前から試行活動を開始!
安満遺跡公園もキセラ川西と同様に開園前から、市民参画でプロジェクトを開始し、6つのグループに分かれて試行活動を進めています。
- 体験を通じて課題を整理し、内容を改良している
試行活動を重ね、その体験を通じて、プログラムの課題を整理し、より良いものに内容を改良しています。平成30年度の開園を目指しています。



公園以外の場所でPR活動。古代装束の貫頭衣は手作りです。



公園と周辺地域を回遊する散策ルートづくり。公園への眺望点をチェック。



公園予定地で防災食の調理実験。

※引用：高槻市ホームページ、安満遺跡公園 Facebook ページ

※安満遺跡公園の取り組みは、高槻市のホームページで詳しく紹介されています。 [安満遺跡公園](#)

NEXT INFO ■ 日時：2016.9.3 sat. 9時半～12時
■ 開催場所：アステ市民プラザ マルチスペース2

次回は、引き続き活動の「仲間探し」と「企画書づくり」に取り組みます!

■ 問い合わせ先 川西市役所 5階 キセラ川西整備部地区整備課 担当：山角、藤田
〒666-8501 川西市中央町12番1号
電話：072-740-1207 FAX：072-740-1330
メールアドレス：kawa0193@city.kawanishi.lg.jp

ワクワク企画書をつくらう

やりたい活動の目的や内容が似ている人どうして、グループをつくり、企画書づくりに向けて意見交換をしました。その内容をお知らせします。

●遊びグループ



◆遊びグループの内容

- 子ども、若者、シニアがつながる遊び場をつくりたい。
 - まず、仕掛ける自分達がやってみたい！…と思うことを考えた。焼き芋や山菜料理等火を使える環境づくりや「100人テント泊」など公園でお泊りができるようなことを考えたい。
 - ワクワクする素材で造り変えができる・成長する遊具も計画したい。
 - せっかくキセラ川西ができるので、「行事イベント」も考えたい。
- メンバー：延命寺 陽子、田中 義人、吉村 俊雄

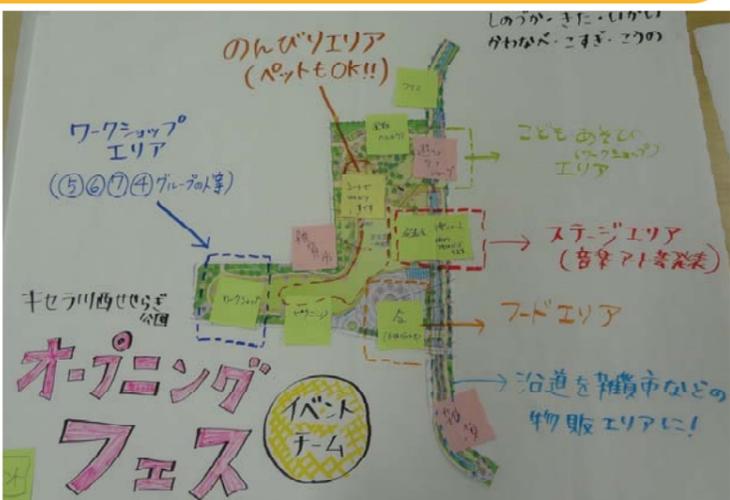
●のんびり地域活性化グループ



◆のんびり地域活性化グループの内容

- 公園はのんびりできる場所。一方で「公園に行けば、何かがある！出会いもある！」と期待できる場所にしていきたい。
 - せせらぎを中心に、市内の名所を結ぶ回遊ルートを考えたい。周辺地域と結ぶことで、公園に色々な人の出入りが生まれるだろう。
 - サイン整備等により、多世代の健康管理に役立つ
- メンバー：猪飼 和枝、河野 威士、輔信 捷三

●イベントチーム (オープニングフェス)



◆イベントチームの内容

- 色々なイベントをしたいと集まったチームだが、今ここにいない団体にも「あの公園でこんなことができるんだね」…ということを知ってもらえるイベントとして、まずはオープニングフェスを計画したい。
 - フェスでは、公園の施設(ステージ、芝生、里山、エントランス、治道等)を使い様々な体験をしてもらうことで、市民にこの公園の可能性を伝えたい。
- メンバー：猪飼 剛史、川鍋 静佳、喜多 義明、小杉 大介、篠塚 みのり

●運営支援・広報・コンシェルジュグループ



◆運営支援・広報・コンシェルジュグループの内容

- 将来的には、市民主導で公園を運営し、経営していきたい。
 - 運営事務局は、公園が見渡せる場所につくり、開かれた形の機能をもたせたい。例えば、アンテナショップ機能を加えるなど。
 - 周辺地域、経済圏をまきこんだタウンマネジメントの視点も必要。
 - 運営事務局は、行政と市民をつなぐハブ的な機能をもたせたい。
- メンバー：荻田 雅仁、三井 ハルコ、藤井 文、藤本 美穂、二岡 美樹

●武田先生のアドバイス



みなさんの発表をきいて「レベルが高い」と感じた。これから企画書をつくり上げ、みなさんが考えた企画をキセラ川西せせらぎ公園で実現するために4点お話しをしたい。

① やってみる

キセラ川西せせらぎ公園はまだできていないが、市内の公園や広場を使って、練習することはできる。プログラムを自分達で運営してみるとわかることがたくさんある。計画して、実行し、チェックして、計画を見直す…この繰り返してプログラムが良くなる。開園までに、自分達で考えた企画を試行してほしい。

② ゆっくり育てる

イベントには、大規模なイベントもあれば、日常的に行われる小さなイベントもある。初めから完璧や完成形を目指さないで、小さいことから着手し、ゆっくり育ててほしい。

③ 連携する

例えば、食のイベントでは、「食べながら音楽を聴ける」「仕事の後に食べる」…など食と何かのセットにより、魅力的な体験ができる。このキセラ川西の取組みも色々な人やコトと連携して、魅力的なものにしてほしい。

④ 公園やまちのイメージを牽引する

みなさんには、キセラ川西のまちや公園のイメージを引っ張っていただくほしい。そのために、良いイベントやプログラムをたくさん考えて、準備してほしい。公園の趣旨に沿い、かつみなさんの考えや思いをプログラムを通じて公園に反映することで、公園やまちが良くなる様を体現してもらいたい。

「ひとことアンケート」の一部をご紹介します!



- 同じ考え方の人に出会い、良かったです。
- 今日は、全体の人数が少なく残念でしたが、同じキーワードで集まった方々とひとつまとまった話が出来よかったです。
- 「その他グループ」がなかったのが残念です。ワクワクできるグループに出会えることを願っています。
- 自然観察を中心に企画したいです。
- 企画を立ち上げるのたいへんさを思い知りましたが、これからどんな風に広がっていくのか楽しみです。
- 企画づくりで、実践するレベルで考えて具体化することは中々難しい。
- 何となくカタチが見えてきた気もしたのですが、今回の参加人数が少なかったのが今後の実現に少し不安も感じました。次の5回目にも企画検討の機会があつてよかったと思いました。
- あと、4回でバラバラに動くより「公園のまちのイメージ」をつくることを大事にできたらなと思いました。
- 参加者のモチベーションを保っていくことも重要だと感じます。現実的な情報もどんどん出してはってはどうでしょう?
- 武田先生がおっしゃるように、練習が必要だ。練習を行う上で、行政とどのようにかわればよいか予算がどうなっているのか具体的なところが聞きたい。